



学校教育目標

## 自律 共感 協働

子どもたちがめざすこと

〔自律〕自分で決めて行動する 〔共感〕相手の立場に立って考える 〔協働〕みんなで目的を達成する

### 指導方針

- ・学校・家庭・地域で情報及びビジョンを共有し、学校運営に参画する。
- ・子どもたち一人一人の教育的ニーズを把握し、適切な指導と必要な支援を行う。
- ・経営方針のもと、教員一人一人の活動を組織的に機能させる。

### 重点事項 【授業で子どもを育てる】

1. 児童が進度や到達度に応じて学習する場面を増やす。  
[指導の個別化]
2. 児童が内容や方法を決める学習場面を増やす。  
[学びの個性化]
3. 1人1台端末を効果的に使う。

### 【心と体を育てる】

4. 多様性を受け入れる学校をめざす。
5. 感動体験を積み重ねる。  
金管バンド (5.6年生)  
和太鼓 (4年生)
6. 人権教育をすすめる。
7. 情報モラル教育を親子で進める。
8. 運動への興味関心を高める。

### 【吉見・鴨庄のフィールドを活かして学習する】

9. 吉見小・鴨庄小のふるさと学を継承する。
10. 地域の良さや課題に目を向ける題材設定をする。

### 【連続した幼児教育と小学校教育をめざす】

11. 子どもの姿を捉え、育ちや学びの連続性を図る。

### 【教職員の資質向上を図る】

12. 組織力を上げる。
13. 校内研修を充実させる。
14. 働き方改革を推進する



### めざすコミュニティ・スクール

主体性を持つ学校運営協議会の主導により、吉見、鴨庄の地域・学校・家庭がそれぞれ本来の役割を発揮し、地域の教育力を活かした学校支援を行う。また、持続可能なコミュニティ形成をめざす。

### 本校の特色ある取組

- (1) 統合加配教員を活かした副担任制度
- (2) 吉見・鴨庄のフィールドで展開する「ふるさと学」
- (3) 5・6年生「金管バンド」
- (4) 4年生「和太鼓」
- (5) 幼小連携



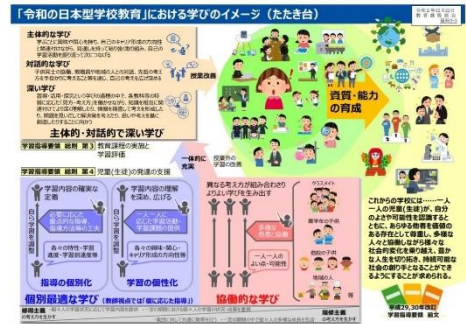
# 目標

## 自己決定できる子に

「自分で決める」自律型の子どもを育てることが、最高位の目標です。それは、主に授業の中で培っていきます。子どもが自分で「決められる」場面をつくり、主体的な学び・自律を促していきます。教師の役割は「教える」ティーチャーだけでなく、「引き出す」ファシリテーター、「伴走する」コーチなども必要になってきます。授業で培われた力を持って、諸活動で応用・展開していくのです。

自律への共通用語

- 「どうした？」
- 「どうしてほしい？」 「Aにしますか、Bにしますか？」
- 「先生は何をしたらいいの？」



裏表紙参照

## 授業で子どもを育てる

1. 児童が進度や到達度に応じて学習する場面を増やす。 [指導の個別化]
2. 児童が内容や方法を定める学習場面を増やす。 [学習の個性化]



3. 1人1台端末を効果的に使う。
  - 東書Webライブラリ・タブレットドリルの活用
  - プログラミング教育の実施（各学年5時間以上）
  - 電子図書の活用

## 心と体を育てる

4. 多様性を受け入れる学校をめざす。

教育者が高い受容力をもっていることが、多様性の教育に関わる最初の条件である。児童が無意識的な教員の言動から吸収し、経験する事柄は、教えることよりも影響を与える「隠れたカリキュラム」となります。



ダイバーシティとは直訳すれば「多様性」ということで「幅広く性質の異なる者が存在する」という意味である。様々な違い（差異）が存在するダイバーシティは、第1属性（内側の輪）と第2属性（外側の輪）の2つのタイプからなっている。第1属性には、年齢、性別、国籍、人種、障害、LGBTなどの性的マイノリティが挙げられる。第2属性には雇用形態や、婚姻、嗜好、収入、出身地、学歴、趣味や価値観といった他者との「違い」がありその数は無限である。

5. 感動体験を積み重ねる。

- 金管バンド（5,6年生）
- 和太鼓（4年生）



6. 人権教育をすすめる。

- いじめを許さない意識や実践力の育成

7. 情報モラル教育を親子で進める。



8. 運動への興味関心を高める。

- 小学校低学年体育（運動領域）デジタル教材 [文部科学省/mextchannel](https://www.mext.go.jp/mextchannel/)
- 学校体育実技指導資料

## 吉見・鴨庄のフィールドを活かして学習する

9. 吉見小・鴨庄小のふるさと学を継承する。（R5カリキュラム、指導の手引き作成済み）
10. 地域の良さや課題に目を向ける題材設定をする。

校区が広がり、学習のフィールドも広がったことで、子どもたちの興味関心は高まる。更に、子ども同士が各地域のことを教え合うことや、スクールバスで現地に出かけていくことも容易にできることから、特色ある「ふるさと学」を展開する。

初年度の地域支援者の参画には、配慮が必要である。鴨庄地域住民が、学校の導きなく吉見小学校の支援にはいるにはハードルが高く、年度始めには、両地域のバランスをとった「ふるさと学習」のデザインを描いて依頼しておく必要がある。

# 連続した幼児教育と小学校教育をめざす

## 11. 子どもの姿を捉え、育ちや学びの連続性を図る。

市島地域市立小学校統合は、こども園単位で進んでいる。幼少期の育成が、その後の諸課題の要員となっている場合が多いことに着眼した、幼小連携がコンセプトである。こども園の学びや習慣を活かし、一からやり直すことなく連続させる。



## 教職員の資質向上を図る

### 12. 組織力を上げる。

#### □ 生徒指導の留意点

- (1) 変化への感度を高く持つ
- (2) 報連相を迅速に
- (3) 事実関係の正確な把握
- (4) 特別支援教育の視点を持つ
- (5) 家庭への迅速な報告
- (6) 解消後の事後ケア

#### 生徒指導の考え方

- ・ 良し悪しに関わらず、教室の様子や児童の実態を話題にする習慣を持つ。
- ・ 喧嘩やトラブルは、ゼロにすることが目標ではない。適確に対応し自浄能力（組織内の悪弊を自分たちで改めることのできる力）を育てていく。
- ・ 保護者には、学校で起こったことの一部始終を伝えることを基本とする。

#### □ 「観」を揃えた指導

- ・ 児童がどのようになればよいのか明確にし、指導にあたる。
- ・ そのためには、ゆとりを持って提案する。

#### □ 「教育」を地域・家庭にわかりやすく伝える

### 13. 校内研修の充実を図る。（研究推進計画参照）

### 14. 働き方改革を推進する

- 学校及び教師が担う業務の明確化・適正化
- 水曜定時退勤の完全実施と計画的年休取得





# 学校運営協議会を活かした活動

## ～地域学習の融合～

### 1. 「生活科」「総合的な学習の時間」の学習支援

■統合校の校区に広げ、両地域の地域講師がかかわって学習を進める。

【1年】四季の草花・生き物探し

【2年】町探検 野菜栽培

【3年】環境調べ(川探検) 米作り 安全・お宝マップづくり

■両校の特色を残すために、取り組む学年を調整する。

【4年】鴨庄っ子太鼓 地域の偉人に学ぶ

【5年】金管バンド活動

【6年】金管バンド活動 地域貢献活動



\*令和5年度の計画案有

### 2. コミュニティ掲示板の運用

■地域の行事やニュースなど、情報発信を行う。

### 3. 学校運営協議会の開催

第1回 4月 学校経営方針/年間活動計画/コミュニティ掲示板の運用/活動拠点場所について

第2回 6月 授業参観/学習支援人材バンク/熟議の計画/意見聴取

熟議 8月 企画運営は学校運営協議会

第3回 10月 授業参観/両地区合同のイベントについて/意見聴取

第4回 2月 学校評価/意見聴取/年間活動反省

## 新型コロナウイルス感染症を踏まえた対応

### 3. 新型コロナウイルス感染症を踏まえた対応

社会の流れに同調していく。

校内流行に備えた対策を準備しておく

「感染源を絶つ」 → 健康観察の徹底。

「感染経路を絶つ」 → 手洗い、咳エチケット、手消毒の指導。

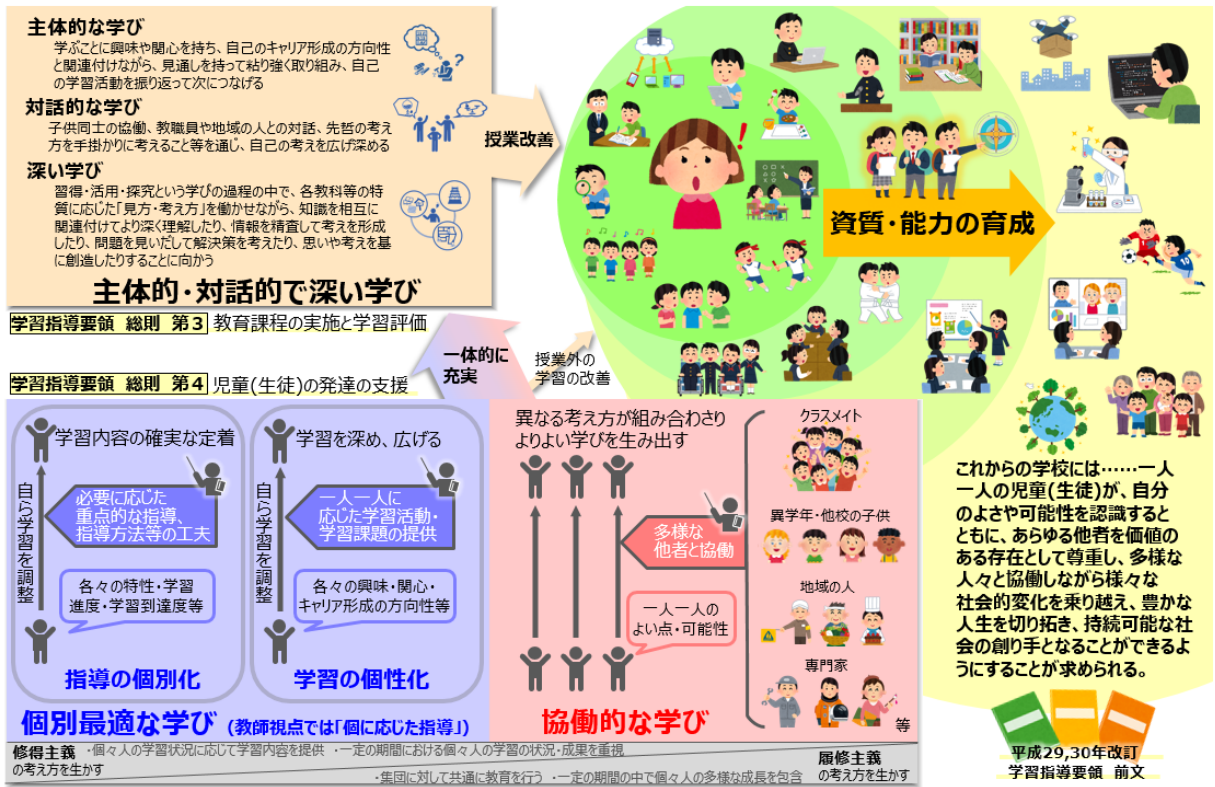
密閉空間を回避するため換気を徹底する。密接場面を作らない。

十分な睡眠、適度な運動、バランスのとれた食事を心がけさせる。＝「抵抗力を高める」

自宅待機の児童には、状況に応じてオンライン授業等を行う。

心理面のケア、誤解や偏見による差別の防止に向けた取り組みをする。

# 「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実（イメージ）



※本資料は、「教育課程部会における審議のまとめ」（令和3年1月25日中央教育審議会初等中等教育分科会教育課程部会）に基づき、概念を簡略化し、図等として整理したものである。